

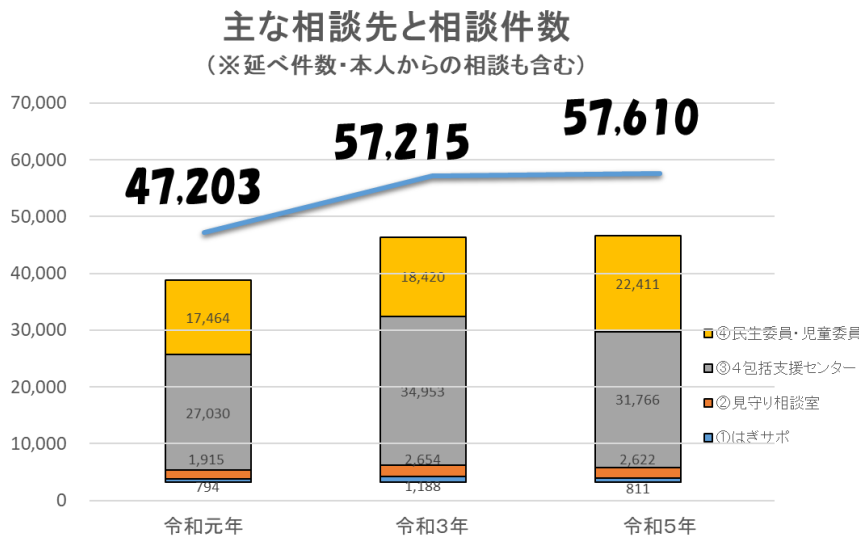
重点項目① 新たな西成区の地域福祉推進体制(つたえる、つくる)

◆気にかける・つながる・支え合うために

＜令和6年度の振り返り＞

➤地域と連携する窓口(かけはし)の充実

・主な相談先への相談件数が増えていることから、相談先の周知がある程度できており、地域と連携する窓口(かけはし)は充実しつつあると考えられる



＜令和7年度の取り組み＞

➤現在の取り組みを継続して実施し、さらなる充実を図る

- ・複合的な課題を抱えた人を支援する「つながる場」(総合的な支援調整の場)の事例紹介を通じて、事業の趣旨や取り組み内容を周知し、協力者を増やす
- ・地域の協力者(ケアマネージャー、相談支援員等の福祉事業者、民生委員、ネットワーク委員など)に対して、集いの場等により「気づき」と「つなぐ」を伝える

重点項目② 地域福祉活動への参加促進と担い手の確保(一緒にすすめる)

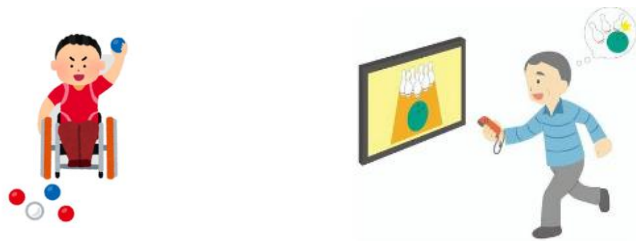
◆地域活動へ参加するためのきっかけづくり

＜令和6年度の振り返り＞

➤ボッチャ・eスポーツを活用した地域活動への参加者の増加と活性化

ボッチャは、住民同士の自主的な活動が活発化し、eスポーツは男性の参加率が高く、ともに地域行事への参加促進に有効であった

- ・第2回ボッチャ大会(2月) 参加チーム数36チーム(約230名)
- ・eスポーツボウリング大会(3月) 参加人数18人



＜令和7年度の取り組み＞

現在の取り組みを継続して実施し、引き続き世代間や地域間の交流の活性化に取り組む

➤ボッチャ大会の実施

- ・各地域が参加するボッチャ大会開催を検討する。また、子どものボッチャチームの大会参加を促すため、子育て関連施設と連携するとともに、子どもが参加できるよう土曜日の開催を検討する

➤eスポーツ大会・体験会の実施

- ・eスポーツ大会(ボウリングなど)、世代間交流(高齢者と子どもと一緒に楽しむ機会)の場を検討する
- ・老人福祉センターでの開催を中心に、希望のある地域へ出向き体験会を実施することで、参加促進を図る

➤担い手の確保

- ・区役所作成の町会加入促進リーフレットを活用した周知、呼びかけ

重点項目② 地域福祉活動への参加促進と担い手の確保(一緒にすすめる)

令和7年度 地域福祉フォーラム 開催(案)

【テーマ】 「**いろいろな人**がいるからおもしろい！」

～共に支え合う地域づくりをめざして～

【内 容】 ▶外国につながる住民とともに暮らすための心構えとは
国籍や民族などの異なる人々がそれぞれの文化や習慣などを理解しあい、
日常でのつながりを深めていくきっかけづくりを図る

【形 式】 講演会と外国人パネリストによるパネルディスカッション

【日 時】 令和7年11月29日(土)10時30分～ 西成区民センター
(区社協主催の多文化共生フェスタと同日開催)



★参考★

「多文化共生フェスタ」とは、
多文化に触れるワークショップや講座の開催、外国にルーツを持つ方との交流、展示などを
関係機関・学校・NPO・ボランティアなどの協力を得て、お互いの文化を知り、交流を深める

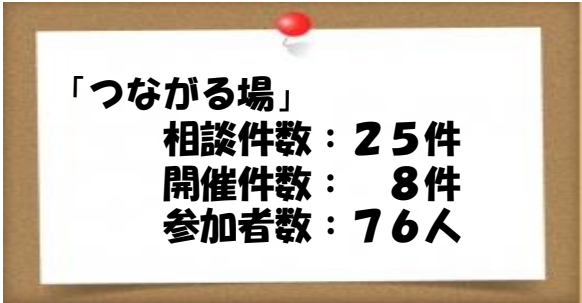
重点項目④ 複合的な課題を抱えた人への支援体制の構築(支援する)

◆さらなる支援者間(多職種)の連携

＜令和6年度の振り返り＞

➤多職種の連携をめざし情報を発信

- ・西成区障がい者自立生活支援調整協議会 精神保健福祉連携部会(R6.5.21)
- ・生活保護担当新任研修会(R6.5.30) 相談支援部会(R6.11.25)
- ・西成区南ブロックケアマネージャー勉強会(R6.11.27)



➤「つながる場」の開催

- ・認知症、ごみ屋敷、不登校などの課題に、多様な支援機関や地域関係者が参加し、支援方針の分担・共有
- ・事案に応じて専門的な知識を持つスーパーバイザーが参加

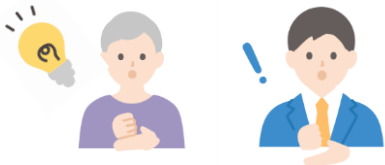
➡ 参加者のうち、97%が「今後の支援に活かせる」と回答するなど、参加者の満足度が高い

＜令和7年度の取り組み＞

引き続き情報発信することで、さらなる支援者間(多職種)の連携をめざす

➤「かけはし」の認識を深め、複合的な課題を抱えた人の適切な支援につなげる

- ・地域の協力者(ケアマネージャー、相談支援員等の福祉事業者、民生委員、ネットワーク委員など)に対して、集いの場等により「つながる場」(総合的な支援調整の場)の事業趣旨や取り組み内容の周知を実施
- ・西成区役所職員全体の感度(気づき)向上を目的とした研修を実施
- ・複合的な課題に対し専門的な知識をもつスーパーバイザーの活用



重点項目③ 要援護者の発見と地域における見守り体制の強化(支える体制をつくる)

重点項目⑤ 地域の生活課題の解決や自分達の住む地域を「考える」場づくり支援

◆要援護者名簿の活用と地域の見守り

＜令和6年度の振り返り＞

➤ 16地域に更新した要援護者名簿(西成つながり名簿)を提供

- ・各地域の主な取り組みの状況
 - 飛田地域 民生委員が、要援護者名簿を活用し家庭訪問を実施
見守り相談室・包括支援センター・ランチが協力し、地域内のマンションを
個別訪問し状況の把握を行う
 - 津守地域 町内の情報発信・居場所と見守りを兼ねる場として検討中
災害時を見据えた見守り活動を、1町会でモデル実施
- ・個別避難計画作成状況 累計227件

＜令和7年度の取り組み＞

日常生活や災害時において、支援が必要な人の名簿

➤ 16地域に更新した要援護者名簿(西成つながり名簿)を提供(8月以降順次)

- ・名簿提供時に、地域の取り組み状況や課題を聞き取る
- ・地域の状況に応じた活用方法を地域と一緒に考える
- 要援護者名簿をもとにした個別避難計画の作成
 - ・引き続き介護事業者などの協力・連携を得ながら作成していく

重点項目③ 要援護者の発見と地域における見守り体制の強化(支える体制をつくる)

重点項目⑤ 地域の生活課題の解決や自分達の住む地域を「考える」場づくり支援

▶ 各地域の名簿保有状況

地域支援団体	地域活動協議会	連合振興町会	民生・児童委員	地区社会福祉協議会	ネットワーク委員会		
3団体で保有	弘治	長橋	今宮	玉出	津守		
2団体で保有	橘	松之宮	千本	飛田			
1団体で保有	萩之茶屋	梅南	岸里	南津守	北津守	山王	天下茶屋

▶ 各地域での主な取り組み事例

飛 田

・民生委員と見守り相談室・包括支援センター・ランチが協力し、地域内のマンションを個別訪問し状況の把握を行う <継続中>

津 守

・情報発信・居場所と見守りを兼ねる場として茶話会を7月から実施予定(町会未加入地域)
・災害時を見据えた見守り活動を実施<継続中>